



平成16年9月3日

各位

会社名 住友金属鉱山株式会社
代表者名 代表取締役社長 福島 孝一
(コード番号 5713)
問合せ先 経理部財務決算担当課長
中山 靖之
(TEL. 03-3436-7926)

平成17年3月期 中間業績予想の修正に関するお知らせ(連結および単独)

平成16年5月13日の決算発表時に公表した平成17年3月期(平成16年4月1日～平成17年3月31日)中間業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成17年3月期 中間連結業績予想数値の修正(平成16年4月1日～平成16年9月30日)
(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	220,000	22,500	12,000
今回修正予想(B)	240,000	32,000	21,000
増減額(B-A)	20,000	9,500	9,000
増減率(%)	9.1	42.2	75.0
(ご参考) 前期中間期の実績(平成16年3月期)	181,347	8,999	5,547

2. 平成17年3月期 中間単独業績予想数値の修正(平成16年4月1日～平成16年9月30日)
(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	155,000	13,500	6,500
今回修正予想(B)	170,000	22,000	14,500
増減額(B-A)	15,000	8,500	8,000
増減率(%)	9.7	63.0	123.1
(ご参考) 前期中間期の実績(平成16年3月期)	131,051	6,839	3,587

3. 修正の理由

資源部門、金属部門がニッケルおよび銅の価格が高水準で推移したことなどにより増収・増益となることに加えて、銅、ニッケル等のたな卸資産の評価方法を後入先出法から先入先出法に変更したことによる一時的な増益要因が高水準の非鉄金属価格により拡大したこと、また電子材料および機能性材料部門は旺盛なエレクトロニクス材料需要に牽引され増収・増益となることなどから、前回発表の単独業績予想に比べ経常利益、当期純利益が大きく増加する見通しとなりました。

連結業績予想につきましては、単独業績予想の伸びに加えて電子材料および機能性材料部門の子会社の業績の好転も見込まれることなどから、前回発表に比べて経常利益、当期純利益が大きく増加する見通しとなりました。

なお、通期の業績予想につきましては、現時点では見直しを行っていないため、中間決算発表時に見直しを行い公表する予定です。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な要因により、予想と異なる結果となる可能性があります。

以 上